

2025 年 12 月 24 日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三井住友ファイナンス&リース株式会社
三井住友 DS アセットマネジメント株式会社

SMBC グループのプライベートアセット運用ビジネスについて

SMBC グループでは、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）の商業銀行モデルをベースにした融資ノウハウや、三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）が有する航空機や不動産等のアセットに係る知見、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：荻原 亘、以下「SMDAM」）の運用会社としての実績といったグループ内のケイパビリティを活用して、プライベートアセット運用ビジネスを拡大し、強みとする国内資産運用戦略に次ぐ第二の柱を構築する目標を掲げております。特にレバレッジド・ファイナンス、不動産クレジットおよびエクイティ、インフラクレジット、航空機の 5 つの運用領域に注力していく方針です。

この目標の中で、プライベートアセット運用ビジネスとして以下の取組を行ったこととお知らせいたします。

(1) 欧州大型レバレッジド・ファイナンスを主な投資対象としたジョイントベンチャー（以下「JV」）プログラムの立ち上げについて

三井住友銀行（同行欧州現法を含む）は、Bain Capital（Co-Managing Partner:David Gross、以下「Bain Capital」）と Muzinich & Co.（CEO：Justin Muzinich、以下「Muzinich」）それぞれと欧州大型レバレッジド・ファイナンスを主な投資対象とした最大 1,500 百万ユーロの JV プログラムを立ち上げました。三井住友銀行は幅広い顧客ネットワークと豊富な案件組成実績を活かし、クレジットに係る専門性や投資案件機会を JV プログラムに対して提供します。一方、Bain Capital と Muzinich それぞれは資産運用ビジネスの知見を提供します。これらの新たなプログラムは既存のダイレクトレンディングを投資対象とした同種のプログラムを補完するものです。

(2) アジア不動産クレジットファンドの立ち上げについて

SMBC グループが有する、不動産クレジット領域における豊富なスポンサー・ネットワークや案件組成能力、およびシニアローン融資機能等の強みを活かしたアジア不動産クレジットファンドを SMDAM にて立ち上げました。現在のファンドサイズは 120 百万ドルです。本ファンドは、不動産クレジット市場の成長が著しい APAC 地域の先進国にて不動産ファイナンスを提供します。

また、上記の取組を含んだプライベート領域における多様でグローバルな資産運用商品・サービスを総称する統一ブランドとして「SMBC Private Markets」を立ち上げました。本ブランドのもと、SMBCグループはグローバルベースでプライベートアセット運用ビジネスの高度化に努め、海外で培った経験や各運用領域でのパートナーとの戦略的な協働も活かしつつ、国内外の投資家に投資機会を提案し、投資ポートフォリオの多様化に貢献します。

【参考 1】統一ブランドロゴ

SMBC PRIVATE MARKETS

今後は本ブランドの下でプライベートアセット運用ビジネスの企画推進、各種商品の開発、運用、販売を行ってまいります。

これらの取組は、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達）および SMFL とそれぞれの連結子会社が役務を提供するプライベートアセット運用およびそれに類する管理を行うプログラムの総額 Assets Under Cross Asset Management（以下「AuX」）として指標設定し、2031 年前後に AuX：15 兆円を展望します。

また販売においても、SMBC グループのディストリビューション力を結集し、国内外の投資家に対する提案力を高めてまいります。

【参考 2】ディストリビューション態勢について

ディストリビューション力の結集

プロダクト・セクター横断の総合販売体制を確立



将来的には運用領域の拡大や、これまでプライベートアセットへのアクセス機会が乏しかった 投資家へのご提案、海外投資家に対する国内投資機会のご提案を目指し、政府の掲げる資産運用立国の実現に貢献してまいります。

以 上

【ディスクレーマー】

- 本プレスリリースは情報提供のみを目的とするものであり、米国を含む投資家に対して勧誘行為または投資推奨を意図するものではありません。
- 各活動は各関係事業体に適用される許認可に従い許認可を有する法域において実施されることを前提とします。
- 本プレスリリースで言及する AuX は、SMFG および SMFL のそれぞれの連結子会社が役務を提供するプライベートアセット運用及びそれに類する管理を行うプログラムの総額を表す社内指標を指します。これは規制上の運用資産残高と同一ではありません。これらの記述は現時点の見通しに基づくものであり、リスクおよび不確実性を伴います。